

神経内科に、過去に通院・入院された患者さんまたはご家族の方へ
(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号)の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 脊髄空洞症における手術療法の効果に関する後向き研究

[研究機関] 北海道大学病院 寶金 清博

[研究責任者] 佐々木 秀直 (神経内科・教授)

[研究の目的] 脊髄空洞症における手術療法の効果や手術療法後に残存する神経症状について調査することが目的です。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

脊髄空洞症の患者さんで、2000 年 1 月 1 日から 2017 年 9 月 30 日までに北海道大学病院脳神経外科または神経内科に通院または入院された方。

●利用するカルテ情報

年齢、性別、病歴、身体所見、診断名、治療歴、重症度、MRI 所見、服薬状況、身体所見、神経学的所見

[研究実施機関] 実施許可日～2019 年 3 月 31 日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目
北海道大学病院神経内科 担当医師 矢部 一郎
電話 011-706-6028 FAX 011-700-5356